



しゃくなげ

令和7年10月17日

文責：吉田

気づき 考え 実行し 笑顔あふれるチーム利根小

一日一笑

10月朝礼から 『脚下照顧（きゃっかしょうこ）』

学校の玄関に入ってすぐ左、1年生の下駄箱の上に掲示してある「脚下照顧」という言葉がもつ2つの意味について話しました。

一つ目は「履き物を揃えと 心が整う」という意味です。玄関での履き物の状態がその人の心そのものを表しているということ、揃えるという一手間の行為が結果として心に繋がり整うという意味です。そしてもう一つの意味が少し難しいのですが、「自分の行動を見つめ直す」です。人はどうしても他人の言動に目がいきがちです。他人の言動ではなく、自分のしたこと、自分のしなかったこと、一度立ち止まって自分の足元を見つめ直し、今を大切にしましょうという意味です。

ちなみに海外では靴を揃えるという文化はあまりなく日本ならではのようです。また、「揃える」という漢字は、履き物は脱ぎながら足を使って揃えるのではなく、手（手）を使って履き物が前を向くように「手+前」ということで成り立っています。



思い出に残る第10回秋季大運動会

9月27日（土）、運動会を行うには絶好の晴天の中、統合して節目となる第10回目の秋季大運動会が開催されました。3つの学校が統合してから10年の月日が流れ、全校児童数は当時の半数となりました。しかし、一人一人が精一杯声を出し、全力で走り抜け、力強く踊る姿は、人数が少なくなったことを感じさせないほど元気で明るく思い出に残るよい運動会だったと思っています。

今年度は、新たな試みとして6年生達が企画・運営してくれた「借り人・物競争」、また休憩時の「モグモグタイム」がありました。当日は一緒に走ったり、軽食を用意したりと運営に関してご理解とご協力をいただきありがとうございました。今後も運動会などの学校行事で、前例踏襲でなくよりよいものとなるよう改善を図っていきたいと考えます。今年も温かな拍手や応援など保護者と地域の方に見守られ、子ども達のたくさんの笑顔の花が随所に見られた運動会でした。



ベストを尽くした郡市小学校陸上記録会 10月8日（水）

晴天の中、今年度は予定通り郡市小学校陸上記録会が市陸上競技場にて行われました。前日にスーパーでのクマ騒動があり、開会式直前にはクマ対策で花火が打ち上がったような大きな音を何回も会場に響かせていました。運動会と並行して陸上の練習時間が十分とはいえない中で、参加した18名の選手達は各自ベストを尽くしよく頑張りました。また今年度は、選手以外の児童も応援と係役員（お手伝い）を兼ねて記録会に参加しました。他校の先生方から利根小の児童が一生懸命手伝ってくれて助かりましたとお礼を言われました。改めて高学年のパワーとチーム利根小を実感した1日でした。

本大会での上位入賞者

女子ボール投げ	新井結希菜	第1位	57m16☆ (校内新記録)
	井上真里奈	第2位	42m32☆
女子800m	井上 緋彩	第5位	2分44秒49☆
5年女子100m	川島 心晴	第1位	15秒26☆
女子走り高跳び	鹿野 陽	第2位	1m10☆
女子4×100m	井上緋・新井・坂本・川島	第3位	1分0秒70



☆は10/28の県大会に出場

3・4年バス旅行（前橋方面） 10月2日（木）



3・4年生は、前橋方面で県立少年科学館と群馬県警察本部へ行ってきました。

科学館の展示物やトリックアートに驚いたりしながらも体験を通して科学の不思議な現象に興味関心をもちました。またプラネタリウムでは、美しい夜空の星を鑑賞できました。群馬県警察本部では、各自が白バイに乗ったり展示室で昔の警察官の制服などを見学したりとこちらも貴重な体験ができました。



5年東京旅行 10月15日（水）

5年生は、東京方面で国立科学博物館と上野動物園へ行ってきました。国立科学博物館では、日本の動植物や地球の成り立ちについて学習できました。ボランティアの人に質問するなど、主体的に取り組み、普段は見ることのできない数々の展示物に感嘆の声をあげていました。

上野動物園では、たくさんの観光客が来園していましたが、大人気のパンダ「シャオシャオ」は、ほとんど待ち時間なしでたっぷり見ることができ、大満足の5年生でした。

